

映画の原案となった文京学院創立者 島田依史子の自叙伝
『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』
2025年7月8日よりAmazonにて電子書籍版発売開始

学校法人文京学院(理事長:島田昌和)は、2025年10月24日(金)より全国ロードショーとなる映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』の原案となった文京学院創立者 島田依史子(しまだ いしこ)の自叙伝『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』(出版:講談社エディトリアル)の電子書籍版を、7月8日よりAmazonにて発売することをお知らせします。

電子書籍版『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』概要

島田依史子は、戦前・戦後という激動の時代にあって、知識や経済的な支援の乏しい多くの女性たちに寄り添い、彼女たちの未来を切り拓こうと奔走した教育者です。当時の常識や偏見にとらわれることなく、女子実業教育としての商業教育、臨床検査を学ぶ専門学校、さらには短期大学での英語教育と、時代の壁を果敢に乗り越えていきました。本書では、独力で女子教育の場を切り拓いた、希代の女性教育者・島田依史子の意志と覚悟を、本人の言葉で綴っています。

学校法人文京学院は2024年に創立100周年を迎え、現在では、文京学院大学ふじみ野幼稚園・文京学院大学文京幼稚園・文京学院大学女子中学校 高等学校・文京学院大学・文京学院大学院と、幼稚園から大学まで幅広い学びの場を提供し、多くの人材を社会に送り出しています。本書は、その100年の歩みの原点ともいえる島田依史子の想いを辿りながら、教育理念と歴史を再確認する貴重な一冊です。



書名 :信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語

著者 :島田依史子

定価 :1,100 円(税別)

発売開始:2025年7月8日

Amazon 販売ページ:<https://amzn.asia/d/6Dswbpy>

出版社 :講談社エディトリアル

<著者:島田依史子(しまだ・いしこ)>

明治35(1902)年2月16日、東京市本郷区に生まれる。東洋家政女学校を経て、共立女子職業学校を卒業。18歳で、狭き門の文部省中等教員検定試験に合格。結婚、出産を経験。大正13(1924)年、22歳のとき、東京の駒込追分町に島田裁縫伝習所(後に本郷女学院と改称)を開く。第二次大戦後の昭和22(1947)年、文京学園理事長に就任。同39年、文京女子短期大学学長を兼任。同47年には、勲四等宝冠章を受章する。昭和58年8月23日、81歳で死去。



2025年10月24日(金)全国ロードショー映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』について

主演: 豆原一成 (JO1) (『劇場版 仮面ライダーリバイス バトルファミリア』(22)、『BADBOYS -THE MOVIE-』(25))

市毛良枝 (『ラーゲリより愛を込めて』(22)、『明日を綴る写真館』(24)等)

監督: 中西健二 (『青い鳥』(08)、『花のあと』(09)、『大河への道』(22)等)

脚本: まなべゆきこ (『おと・な・り』(09)、『オオカミ少女と黒王子』(16)、『サイレントラブ』(24)等)

音楽: 安川午朗 (『ふしぎな岬の物語』(14)、『孤狼の血』(18)、『せかいのおきく』(23)等)

制作プロダクション: PADMA

原案: 島田依史子『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』

(講談社エディトリアル刊)

原案総責任: 島田昌和

配給: ギャガ

©2025「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」

公式 HP: https://gaga.ne.jp/fujisan_and_coffee

